

高等学校の教科・科目の構成に関する参考資料

科目履修のイメージ(現状)

(参考)主に大学への進学を希望する生徒が多い普通科(文系)の履修イメージ(現状)

必修 学校設定 専門 選択

年	国語		地理歴史		公民	数学			理科		保健体育		芸術	外国語		家庭	情報	総合	総合	選択	必修	選択	必修	選択	
	①	②	①	②	①	①	②	③	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②							
1	国語総合 ⑤				現代社会 ②	数学Ⅰ ①	数学Ⅱ ①	数学A ①	物理基礎 ②	化学基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ③	英語表現Ⅰ ②	家庭基礎 ②	社会と情報 ①	①	1=0	31	0	0	0	0	0
2	現代文Ⅱ ②	古典Ⅱ ③	世界Ⅱ ③	日本Ⅱ/地理Ⅱ ①		数学Ⅲ ②	数学A ①	数学Ⅱ ②	生物基礎/化学基礎 ②		体育 ②	保健 ①		コミュ英語Ⅰ ④	英語表現Ⅱ ②		社会と情報 ①	①	1=0	30	0	0	0	0	
3	現代文Ⅲ ①	古典Ⅲ ④	世界Ⅲ ③	日本Ⅲ/地理Ⅲ ②	倫理/政治経済 ②	数学Ⅱ ②	数学Ⅲ ②		生物基礎/化学基礎 ①	物理基礎/化学基礎 ①	体育 ②			コミュ英語Ⅲ ④	英語表現Ⅲ ②			①	1=0	29	0	0	0	0	
1	国語総合 ⑤		地理A ②		倫理 ②	数学Ⅰ ③	数学A ②		生物基礎 ②	化学基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ/工芸Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ⑤			情報の科学 ②	①	1=0	32	0	0	0	0	
2	現代Ⅱ ②	古典Ⅱ ②	世界A ②		政治・経済 ②	数学Ⅱ ④	数学Ⅲ ②		物理基礎 ③	化学基礎 ②	体育 ②	保健 ①	音楽Ⅱ/美術Ⅱ/書道Ⅱ/工芸Ⅱ ②	コミュ英語Ⅱ ⑤	家庭基礎 ②			①	1=0	32	0	0	0	0	
3	現代Ⅲ ①	古典Ⅲ ④	現代文Ⅲ/世界研究/日本研究/数学探究 ①	日本A ③	世界B/日本B/地理B/現代文Ⅲ/世界研究/日本研究/数学探究 ①		総合基礎 ③		物理/化学/生物/地学 ④		体育 ②			コミュ英語Ⅲ ⑤	国際研究/世界一ツマ史/人文地理/英語特選Ⅰ			①	1=1	31	0	0	0	0	
1	国語総合 ⑤				現代社会 ②	数学Ⅰ ③	数学A ②		物理基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ ②	コミュ英語Ⅰ ③	英語表現Ⅰ ③		社会と情報 ②	①	1=0	31	0	0	0	0	
2	現代Ⅱ ②	古典Ⅱ ③	世界B/日本B ①	世界A/日本A ②		数学Ⅱ ④	数学Ⅲ ②		化学基礎 ②	生物基礎 ①	体育 ③	保健 ①		コミュ英語Ⅰ ④	英語表現Ⅱ ②	家庭基礎 ②			0=0	31	0	0	0	0	
3	現代Ⅲ ①	古典Ⅲ ③	古典A/物理と生命の科学 ①	世界B/日本B ④	世界研究/日本研究/数学探究 ①	政治・経済 ②	数学探究A/世界研究/日本研究 ③	数学探究B/フーデサイ/総合英語 ②	物質と生命の科学/古典A ③		体育 ②			コミュ英語Ⅲ ⑤	英語表現Ⅲ ②			②	2=0	31	0	0	0	0	

年	国語		地理歴史		公民	数学			理科		保健体育		芸術	外国語		家庭	情報	総合	特別	その他	合計	備考
	現代国語	古典国語	世界史/地理史	日本史/地理史		数学I	数学II	数学A	物理基礎	生物基礎	体育	音楽		英語I/外国語I	英語II/外国語II							
1	国語総合 ②		世界史 ①			数学I ①	数学II ①	数学A ②	物理基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ②	音楽 ①	英語I/外国語I ②	英語II/外国語II ①	家庭基礎 ②			①				
	現代国語 ②	古典国語 ③	世界史/地理史 ②	日本史/地理史 ②	現代社会 ②	数学I ②	数学II ②		化学基礎/物理基礎 ②	生物研究 ①	体育 ②	音楽 ①	英語I/外国語I ②	英語II/外国語II ①	家庭基礎/外国語基礎/総合 ②			①				
	現代国語 ②	古典国語 ③	世界史/地理史 ②	日本史/地理史 ②	政治・経済 ②	数学研究 ④	発展数学/発展物理/日本史/地理史 ②		生物基礎 ②	化学研究/生物研究②	体育 ②		英語I/外国語I ②	英語II/外国語II ②				①				
2	国語総合 ②				現代社会 ②	数学I ①	数学A ②		物理基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ②	音楽 ①	英語I/外国語I ②	英語II/外国語II ②	家庭基礎 ②		①					
	現代国語 ②	古典国語 ③	世界史 ④	日本史/地理史 ④		数学I ①	数学II ②		化学基礎 ②	生物 ②	体育 ②	音楽 ①		英語II/外国語II ①	英語III/外国語III ②			①				
	現代国語 ②	古典国語 ③	世界の諸国/日本の諸国/地理史 ②	世界の諸国/日本の諸国/地理史 ②	倫理/憲法/経済/文化 ②	数学基礎研究 ②	数学II ②		化学基礎研究 ②	生物 ②	体育 ②		英語I/外国語I/音楽 ②	英語II/外国語II ②				①				
3	国語総合 ②				現代社会 ②	数学I ①	数学A ②		物理基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ②	音楽 ①	英語I/外国語I ②	英語II/外国語II ②	家庭基礎 ②		①					
	現代国語 ②	古典国語 ③	世界史/地理史 ②	日本史/地理史 ②		数学I ①	数学II ②		化学基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ②	音楽 ①		英語II/外国語II ①	英語III/外国語III ②			①				
	現代国語 ②	古典国語 ③	世界の諸国/日本の諸国/地理史 ②	世界の諸国/日本の諸国/地理史 ②	倫理/憲法/経済/文化 ②	数学基礎研究 ②	数学II ②		化学基礎研究 ②	生物基礎 ②	体育 ②		英語I/外国語I/音楽 ②	英語II/外国語II ②				①				
4	国語総合 ②				現代社会 ②	数学I ①	数学A ②		物理基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ②	音楽 ①	英語I/外国語I ②	英語II/外国語II ②	家庭基礎 ②		①					
	現代国語 ②	古典国語 ③	世界史 ④	日本史/地理史 ④		数学I ①	数学II ②		化学基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ②	音楽 ①		英語II/外国語II ①	英語III/外国語III ②			①				
	現代国語 ②	古典国語 ③	世界の諸国/日本の諸国/地理史 ②	世界の諸国/日本の諸国/地理史 ②	倫理/憲法/経済/文化 ②	数学基礎研究 ②	数学II ②		化学基礎研究 ②	生物基礎 ②	体育 ②		英語I/外国語I/音楽 ②	英語II/外国語II ②				①				
5	国語総合 ②				現代社会 ②	数学I ①	数学A ②		物理基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ②	音楽 ①	英語I/外国語I ②	英語II/外国語II ②	家庭基礎 ②		①					
	現代国語 ②	古典国語 ③	世界史 ④	日本史/地理史 ④		数学I ①	数学II ②		化学基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ②	音楽 ①		英語II/外国語II ①	英語III/外国語III ②			①				
	現代国語 ②	古典国語 ③	世界の諸国/日本の諸国/地理史 ②	世界の諸国/日本の諸国/地理史 ②	倫理/憲法/経済/文化 ②	数学基礎研究 ②	数学II ②		化学基礎研究 ②	生物基礎 ②	体育 ②		英語I/外国語I/音楽 ②	英語II/外国語II ②				①				

(参考)主に大学への進学を希望する生徒が多い普通科(理系)の履修イメージ(現状)

必修科 学校で学ぶ必修科 学校指定 選択 選択

学年	国語		地理歴史		公民	数学			理科			保健体育		芸術	外国語		家庭	情報	総合	選択	選択	選択	選択
	1	2	1	2	1	1	2	A	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
1	国語総合 ①				現代社会 ①	数学Ⅰ ②	数学Ⅱ ①	数学A ①	物理基礎 ②	化学基礎 ②	体育 ②	保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ ②	英語Ⅰ ①	英語基礎Ⅰ ②	家庭基礎 ②	社会と情報 ①	①	1+0	31	0		
2	現代文 ②	古典 ②	世界史・日 ②	世界A/世界B/地理B ②		数学Ⅲ ②	数学Ⅳ ①	数学AⅡ/BⅠ ②	化学 ②	生物基礎/化学基礎 ②	体育 ②	保健 ①		英語Ⅱ ②	英語基礎Ⅱ ②		社会と情報 ①	①	1+0	31	0		
3	現代文 ②	古典 ②	世界史/日本史/地理B ②			数学Ⅲ ②	数学Ⅳ ②		化学 ④	物理/生物/化学 ④	体育 ②			英語Ⅲ ②	英語基礎Ⅲ ②			①	1+0	30	0		
1	国語総合 ①		地理A ①		倫理 ②	数学Ⅰ ①	数学A ②		生物基礎 ②	化学基礎②	体育 ②	保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ/工芸Ⅰ ②	英語Ⅰ ①			情報の科学 ②	①	1+0	32	0		
2	現代文 ②	古典 ②	世界A ①		政治・経済 ②	数学Ⅲ ②	数学B ②		物理基礎 ②	化学基礎 ②	体育 ②	保健 ①	音楽Ⅱ/美術Ⅱ/書道Ⅱ/工芸Ⅱ ②	英語Ⅱ ②	家庭基礎 ②		①	1+0	32	0			
3	現代文 ②	古典 ②	日本A ②	世界特選/日本特選/地理特選 ②		数学Ⅲ ②			物理/化学/生物/化学2科目 ②		体育 ②			英語Ⅲ ②			①	1+0	31	0			
1	国語総合 ①				現代社会 ②	数学Ⅰ ①	数学A ②		物理基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ②	保健 ①	音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ ②	英語Ⅰ ①	英語基礎Ⅰ ②		社会と情報 ②	①	1+0	31	0		
2	現代文 ②	古典 ②	世界A ②	地理B ②		数学Ⅲ ④	数学Ⅳ ②		化学基礎②	化学②	体育 ②	保健 ①		英語Ⅱ ②	英語基礎Ⅱ ②	家庭基礎 ②		①	0+0	31	0		
3	現代文 ②	古典 ②	地理B ②			数学Ⅲ ①			化学 ④	物理/生物 ④	体育 ②			英語Ⅲ ②	英語基礎Ⅲ ②		②	0+0	31	0			

(参考)主に就職を希望する生徒が多い普通科の履修イメージ(現状)

公認検定 準拠の資格がある 履修科目 専門 選択

学年	国語		地理歴史		公民	数学		理科		保健体育		芸術		外国語		家庭	情報	総合	特別活動	職業教育	その他		
	1	2	1	2	1	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2						
1	国語総合 ①		世界A ①			数学I ①	数学A ②	科学と人間生活 ①		体育 ②	保健 ①	音楽I/書道I ①	英語基礎I ①		家庭総合 ①	社会と情報 ②	0	1	0	21	0	0	
	国語表現I ①	現代文 ②	古典B ②		現代社会 ②	数学II ②	数学B ②	化学基礎 ③		体育 ②	保健 ①	音楽II/書道II ①	英語基礎I ①	英語表現I ①	家庭総合 ②		0	1	0	28	0	0	
	国語表現II ②	現代文 ②	新編現代文 ③	古典B/化学 ③		日本語B/地理B ④	数学II ②	新編数学 ③	生物基礎 ①	古典B/化学 ③	体育 ③			英語基礎II ②	英語表現II ②			0	1	0	28	0	0
2	国語総合 ④		世界A ②		現代社会 ②	数学I ④		生物基礎 ①		体育 ②	保健 ①	音楽I/書道I/美術I ②	英語基礎I ①		家庭総合 ②	社会と情報 ②	0	1	0	28	0	0	
	現代文 ②	古典B ②		国際関係基礎/数A/物基礎/英総合/文書処理②		数学II ②		化学基礎 ①	国際関係基礎/数A/物基礎/英総合/文書処理②	体育 ③	保健 ①	音楽II/書道II/美術II ②	英語基礎I ①	英語表現I ①	家庭総合 ②	国際関係基礎/数A/物基礎/英総合/文書処理②	0	1	2	28	0	0	
	現代文 ③	古典B ②		国際関係基礎/数A/物基礎/英総合/文書処理②	日本語B ④	経済・経済 ②	数学II ②	科学と人間生活 ②	生物基礎/数A/物基礎/英総合/文書処理②	体育 ③		音楽II/書道II/美術II ②	英語基礎II ②	英語表現II ②	家庭総合研究(ほか) ④	基礎PC技能(ほか) ④	0	1	4	28	0	0	
3	国語総合 ⑥				現代社会 ②	数学I ④		科学と人間生活 ②	化学基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽I/書道I/美術I ②	英語基礎I ④		家庭基礎 ③		0	1	0	30	0	0	
	現代文 ③	古典A ③	日本語A ②			数学II ④		生物基礎 ①	生物基礎/数A/物基礎/子どもの発達と研究 ②	体育 ②	保健 ①		英語基礎I ①	英語表現I ②		社会と情報 ②	0	1	2	30	0	0	
	現代文 ③	国語表現 ③	世界A ①	地理A ①		数学A ②	数学B/ピタゴラス定理 ②	化学基礎 ③		体育 ③			英語基礎II ②	英語表現II ②			0	1	0	30	0	0	
4	国語総合 ④				現代社会 ②	数学I ③	数学A ②	化学基礎 ②	生物基礎 ②	体育 ③	保健 ①	音楽I/書道I/美術I ②	英語基礎I ①		家庭基礎 ②	社会と情報 ②		0	1	0	28	0	0
	現代文 ③	古典A ③	世界A/日本A ②	世界B/日本B ④		数学II ③	数学B/書I/書II/書III ②	生物 ②	化学基礎 ②	体育 ③	保健 ①	数学B/書II/書III/書IV ②	英語基礎I ①	英語表現I ②			0	1	2	30	0	0	
	現代文 ③	古典B ②	現代文/国語表現/古典B ③	世界B/日本B ④		数学II ③	数理科/基礎数学/数B/生物探究/書道I/書II ②	生物 ②	生物探究/数B/物探究/書道I/書II ②	体育 ③			英語基礎II ②	英語表現II ②		実践英語/英語基礎/生物探究/数探究/数探究/数探究 ③	0	1	2	30	0	0	

学年	国語	地理歴史	公民	数学	理科	保健体育	芸術	外国語	道徳	総合	特別	その他	授業時数	実習
1年	国語総合 ①	地理A ②		数学Ⅰ ③	理科(化学)基礎 ②	体育 ② 保健 ①	音楽(基礎) ② 美術(基礎) ② 図画工作(基礎) ② 家庭科(基礎) ②	英語基礎 ① 英語基礎 ②				1	100	
	現代文 ② 古典 ②		現代社会 ②		生物基礎 ②	体育 ② 保健 ①	音楽(基礎) ② 美術(基礎) ② 図画工作(基礎) ② 家庭科(基礎) ②	英語基礎 ③ 英語基礎 ④		情報科学 ②	1	100		
	現代文 ③ 古典 ③	地理A ③				体育 ③	音楽(基礎) ③ 美術(基礎) ③ 図画工作(基礎) ③ 家庭科(基礎) ③	英語基礎 ⑤ 英語基礎 ⑥	道徳基礎 ②			100	20	
2年	国語総合 ①		現代社会 ②	数学Ⅰ ③	理科(化学)基礎 ②	体育 ② 保健 ①	音楽(基礎) ② 美術(基礎) ② 図画工作(基礎) ② 家庭科(基礎) ②	英語基礎 ①	道徳基礎 ②	総合基礎 ②	1	100		
	現代文 ② 現代文 ③ 現代文 ④ 現代文 ⑤	地理A ②		数学Ⅰ ③	生物基礎 ②	体育 ② 保健 ①	音楽(基礎) ② 美術(基礎) ② 図画工作(基礎) ② 家庭科(基礎) ②	英語基礎 ③	道徳基礎 ③	総合基礎 ③	1	100		
	現代文 ③	地理A・地理B ②	経済・情報 ②	数学Ⅰ ③	生物総合(生物・基礎) ② 物理(基礎) ②	体育 ③	音楽(基礎) ③ 美術(基礎) ③ 図画工作(基礎) ③ 家庭科(基礎) ③	英語基礎 ⑤ 英語基礎 ⑥	道徳基礎 ⑤ 道徳基礎 ⑥	総合基礎 ⑤ 総合基礎 ⑥	1	100	20	
3年	国語総合 ①		現代社会 ②	数学Ⅰ ③	理科(化学)基礎 ②	体育 ② 保健 ①	音楽(基礎) ② 美術(基礎) ② 図画工作(基礎) ② 家庭科(基礎) ②	英語基礎 ①	道徳基礎 ②	総合基礎 ②	1	100		
	現代文 ② 現代文 ③ 現代文 ④ 現代文 ⑤	地理B ③		数学A ③	生物基礎 ② 化学基礎 ② 物理基礎 ②	体育 ② 保健 ①	音楽(基礎) ② 美術(基礎) ② 図画工作(基礎) ② 家庭科(基礎) ②	英語基礎 ③	道徳基礎 ③	総合基礎 ③	1	100		
	現代文 ③ 現代文 ④ 現代文 ⑤	地理A ③ 地理B ③	経済・情報 ③	数学Ⅰ ③	生物総合(生物・基礎) ② 物理(基礎) ②	体育 ③	音楽(基礎) ③ 美術(基礎) ③ 図画工作(基礎) ③ 家庭科(基礎) ③	英語基礎 ⑤ 英語基礎 ⑥	道徳基礎 ⑤ 道徳基礎 ⑥	総合基礎 ⑤ 総合基礎 ⑥	1	100	20	

學年	學期	課程	備註	分數	學分	學科	授課時間	學分	代碼	備註	備註	備註	備註	備註
104	上	國語(一)		國語(一)				3000						
		數學(一)		數學(一)				3000						
		英語(一)		英語(一)				3000						
104	下	國語(二)		國語(二)				3000						
		數學(二)		數學(二)				3000						
		英語(二)		英語(二)				3000						
105	上	國語(一)		國語(一)				3000						
		數學(一)		數學(一)				3000						
		英語(一)		英語(一)				3000						
105	下	國語(二)		國語(二)				3000						
		數學(二)		數學(二)				3000						
		英語(二)		英語(二)				3000						
106	上	國語(一)		國語(一)				3000						
		數學(一)		數學(一)				3000						
		英語(一)		英語(一)				3000						
106	下	國語(二)		國語(二)				3000						
		數學(二)		數學(二)				3000						
		英語(二)		英語(二)				3000						

〔参考〕総合学科の履修イメージ(現状)

国語		地理歴史		公民	数学		理科		体育・体育		芸術	外国語	家庭	情報	総合	選択	必修	選択	
国語総合①				現代社会②	数学Ⅰ②	数学Ⅱ②	化学基礎②	物理②	保健①	音楽①	美術①	音楽Ⅰ(楽譜Ⅰ)/音楽Ⅱ②	英語基礎Ⅰ②	英語基礎Ⅱ②	家庭基礎②	情報基礎②	総合①	総合②	総合③
現代文②	読解基礎②	歴史A②	地理基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	体育②	保健①		英語基礎Ⅰ②	英語基礎Ⅱ②	道徳基礎②		総合①	総合②	総合③	
現代文③	読解基礎②	歴史基礎②	地理基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	体育②	道徳基礎②		道徳基礎②	英語基礎Ⅱ②	道徳基礎②		総合①	総合②	総合③	

〔参考〕学校設定科目等により学び直しを行う履修イメージ(現状)

国語		地理歴史		公民	数学		理科		体育・体育		芸術	外国語	家庭	情報	総合	選択	必修	選択
国語基礎①		社会基礎②			数学基礎②		理科基礎②	体育②	保健①		音楽Ⅰ(楽譜Ⅰ)/音楽Ⅱ②	英語基礎②	家庭基礎②	情報基礎②	総合①	総合②	総合③	総合④
国語総合②		歴史A②			数学Ⅰ②		科学と人間生活②	体育②	保健①		音楽Ⅰ(楽譜Ⅰ)/音楽Ⅱ②	英語基礎Ⅰ②			総合①	総合②	総合③	総合④
現代文②		公民A②		現代社会②	数学Ⅱ②		生物基礎②	体育②				英語基礎Ⅱ②			総合①	総合②	総合③	総合④
国語総合③		歴史A②		現代社会②	数学Ⅰ②		生物基礎②	体育②	保健①		音楽Ⅰ(楽譜Ⅰ)/音楽Ⅱ②	英語基礎Ⅰ②			総合①	総合②	総合③	総合④
現代文③	読解基礎②	歴史A②			数学Ⅱ②		物理基礎②/化学基礎②/生物基礎②	体育②	保健①		音楽Ⅱ(楽譜Ⅱ)/音楽Ⅲ②	英語基礎Ⅱ②	家庭基礎②		総合①	総合②	総合③	総合④
現代文④	読解基礎②	歴史A②	地理基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②			英語基礎Ⅱ②	道徳基礎②		総合①	総合②	総合③	総合④
現代文⑤	読解基礎②	歴史A②	地理基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②			英語基礎Ⅱ②	道徳基礎②		総合①	総合②	総合③	総合④
現代文⑥	読解基礎②	歴史A②	地理基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②			英語基礎Ⅱ②	道徳基礎②		総合①	総合②	総合③	総合④
現代文⑦	読解基礎②	歴史A②	地理基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②			英語基礎Ⅱ②	道徳基礎②		総合①	総合②	総合③	総合④
現代文⑧	読解基礎②	歴史A②	地理基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②			英語基礎Ⅱ②	道徳基礎②		総合①	総合②	総合③	総合④
現代文⑨	読解基礎②	歴史A②	地理基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②			英語基礎Ⅱ②	道徳基礎②		総合①	総合②	総合③	総合④
現代文⑩	読解基礎②	歴史A②	地理基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②	道徳基礎②			英語基礎Ⅱ②	道徳基礎②		総合①	総合②	総合③	総合④

発達の段階や教科・領域の特質に応じた 探究する力の育成イメージ(たたき台)

探究・・・物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営み

高等学校における総合的な学習の時間、課題研究、理数探究(仮称)

- 各教科等の特質に応じて育まれる見方や考え方を**総合的**に活用するとともに、自己の**在り方生き方**に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら見方や考え方を組み合わせて**統合**させ、活用しながら、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成する。

各教科

- 各教科の特質に応じて育まれる見方や考え方を活用しながら、各教科の本質的な理解等に向けて探究することのできる力を育成する。
- 各教科の本質的な理解等に向かうことが重要であることから、問いについては教師が効果的に設定しながら、学習者自身が知識等を構造化できるような学習過程を設定する場合と、学習者が問いを見出すことができるような学習過程を設定する場合とがある。

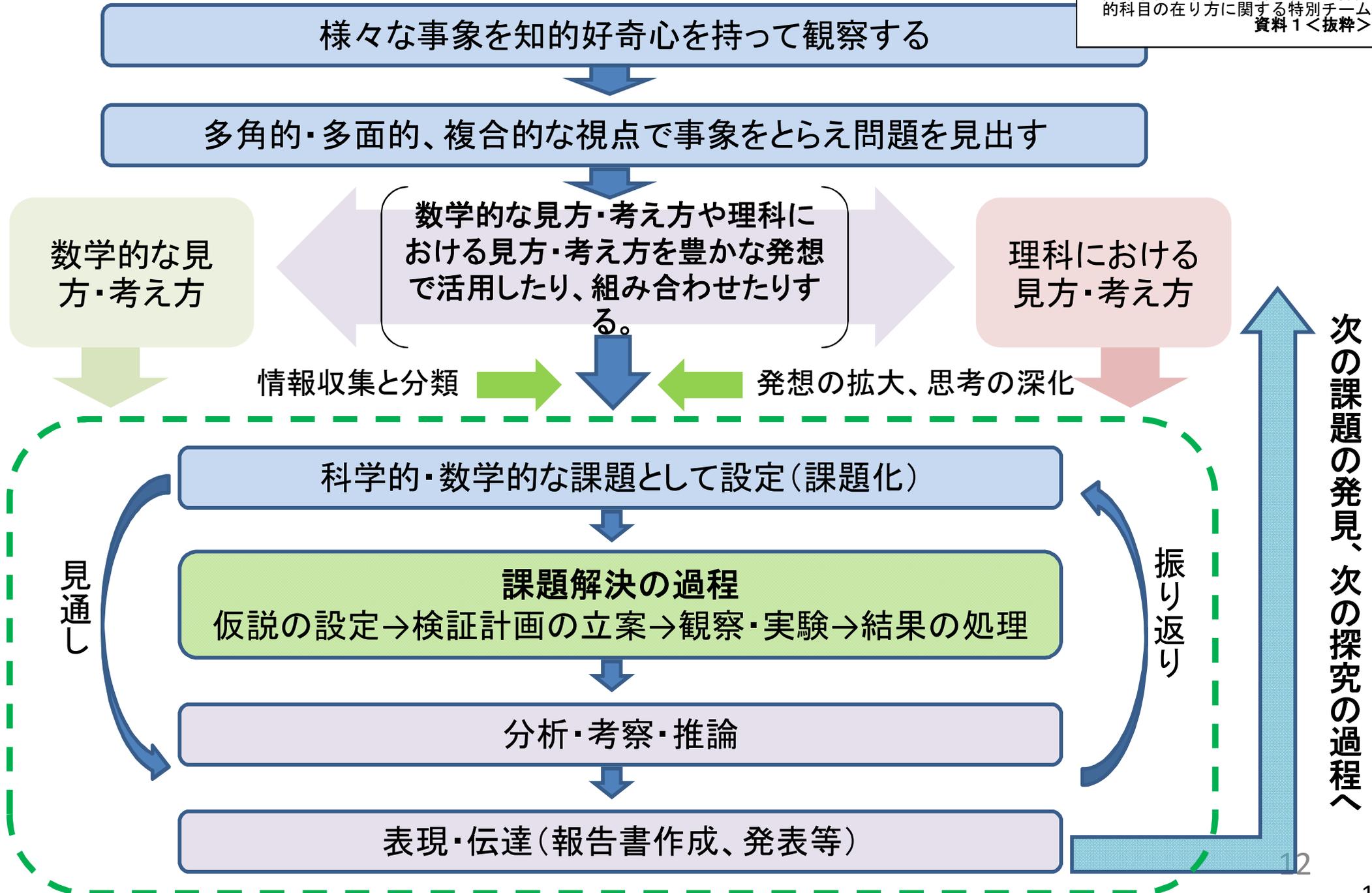
小・中学校の総合的な学習の時間

- 各教科等の特質に応じて育まれた見方や考え方を**総合的**に活用しながら、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成する。
- 探究的な学習が自己の**生き方**に関わるものであることに気付く。

※上記のような力を育成する手立て(学習のプロセスや学習活動)としての「探究」が各教科等で行われている。
(各教科等によって、学習のプロセスや学習活動は異なる。)

資料2: 新科目の学習過程(探究の過程)のイメージ

平成28年5月30日
教育課程部
高等学校の数学・理科にわたる探究
的科目の在り方に関する特別チーム
資料1<抜粋>



資料3:新科目の構造

平成28年5月30日
教育課程部
高等学校の数学・理科にわたる探究
的科目の在り方に関する特別チーム
資料1<抜粋>

探究を深める段階の考え方

- 基礎で身につけた資質・能力を活用して自ら課題を設定し、探究の過程全体を行う。
- それぞれの課題に応じた探究を行うために必要な個別の知識や技能を主体的に身につけさせ、より深い探究を志向させる。
- 探究に当たっては、質を高めるため大学・企業等の外部機関を積極的に活用する。
- 実験や分析自体の成否より、試行錯誤し、失敗のリスクも引き受けながら主体的にやり遂げる過程を重視する。

実施段階

大学・企業等
からの支援

基礎で学んだ
ことを用いて、
自ら課題を設
定し、探究の
過程全体を実
施する。

校内・校外
において探
究の成果を
発表する。

学習過程の例

探究の手法に
ついて学ぶ

教員の指導のもと、実
験・観察の進め方や分
析の手法を考え、選択
した課題等の探究を
実施する

研究倫理に
ついて学ぶ

校内等
で成果を
発表する

基礎の習得段階の必要性

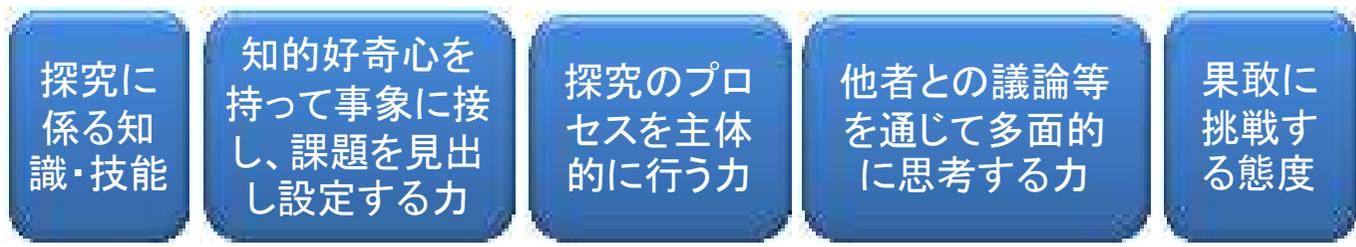
- 探究の過程全体を自ら遂行するために基礎となる資質・能力をあらかじめ身につけておくことが必要。
- 新たな価値の創造に向けて挑戦することの意義等について理解を深めさせることで、主体的に探究に取り組む態度を身につけさせることが必要。
- 研究倫理等についての基本的な知識を身につけさせることが必要。

基礎段階

3. 新科目に係る全体像

平成28年5月30日
 教育課程部会
 高等学校の数学・理科に
 わたる探究的科目の在り方
 に関する特別チーム
 参考
 資料4
 <抜粋>

高等学校における評価の視点(考えられる例)

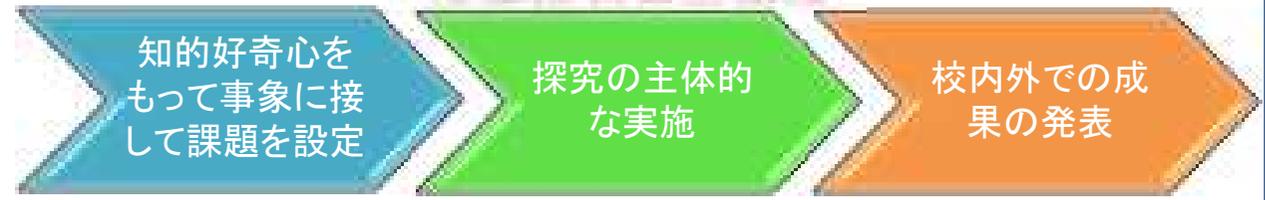


必要と考えられる諸条件

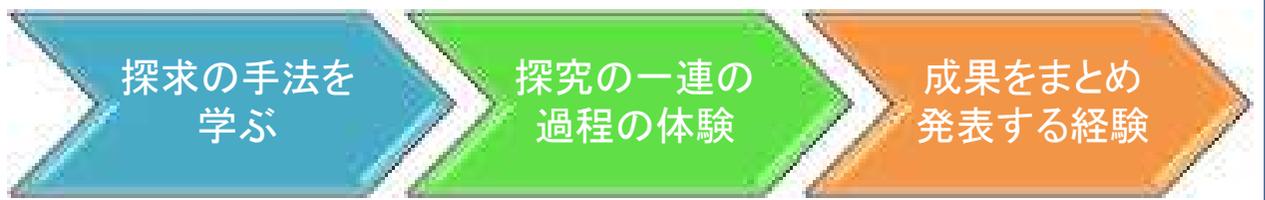
- 学校全体としての指導体制の整備
- 適切な教材の提供、指導事例の共有化
- 教員の指導力の育成(養成・研修)
- 生徒が取り組む探究に必要な経費の確保
- 基本的な観察・実験設備の整備
- 大学・企業等との連携協力体制の構築

探究を深める段階

～生徒自ら実施～



基礎の習得段階



大学での学び

- ・本質を見抜き、批判的にとらえる思考力と感覚
- ・複雑な事象からでも必要な情報を抽出し、定量化できる力
- ・複雑な対象の理解や課題解決に向けた高度な認識力、分析力、判断力
- ・既知の事柄を一般化したり類推したりして、新しい局面を切り開く力
- ・多面的な視点から考察し、総合的な判断を下す力
- ・物事を簡潔に表現し、的確に説明する力
- ・未知の問題に積極的に立ち向かい、冷静に分析し対処していく態度

(出典) 日本学術会議「大学教育の分野別質保障のための教育課程編成上の参照基準」
 数理科学分野、生物学分野、地球惑星科学分野

6. 新科目の位置づけについて(案)

平成28年5月30日
教育課程部会
高等学校の数学・理科に
わたる探究的科目の在り方
に関する特別チーム

参考
資料4
<抜粋>

〔 教 科 〕

〔 科 目 〕

「理数」

○各学科に共通する科目

理数探究(仮称)(2~5)

理数探究基礎(仮称)(1)

※「理数探究基礎」の学習内容を「総合的な学習の時間」や他の教科・科目において十分に習得している場合には、「理数探究」のみを履修することを認めることも考えられる。

○主として専門学科において
開設される科目

※専門学科「理数科」における開設科目

理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱなど

理数物理、理数化学、理数生物、
理数地学など

※主として専門学科において開設される科目として
設定されている「理数」の「課題研究」は廃止する。

「探究」と「研究」

○学習指導要領における用例

高等学校学習指導要領解説「物理」においては、「自然の事物・現象の中から物理学的な立場で問題を見だし、観察、実験を中心に科学の方法を適用しながら問題を解決していくという探究の過程をたどらせることによって、科学の方法を習得させ、物理学的に探究する能力や態度を育てる」としている。

○辞書における説明

「探究」

- ・物事の真の姿をさぐって見きわめること(広辞苑)
- ・物事の真相・価値・在り方などを深く考えて、明らかにすること(大辞林)
- ・物事の真の姿を明らかにし、見きわめようとする事。(明鏡国語辞典)

「探究学習」

- ・探究の過程(観察、分類、測定、伝達、予測等)に児童生徒が主体的に参加することによって、探究能力(観察能力、分類能力等)、科学概念、望ましい態度の育成をねらうもの(新教育学大辞典)

「研究」

- ・よく調べ考えて真理をきわめること(広辞苑)
- ・物事について深く考えたり調べたりして真理を明らかにすること。(大辞林)
- ・物事を学問的に深く調べたり考えたりして、事実や理論を明らかにすること。
また、その内容(明鏡国語辞典)



新科目では、①成果の質よりも、学習の過程を重視すること、②学習活動としての性格が明確になることから、「**探究**」という文言の方が適当ではないか。

3. 資質・能力の育成に向けた教育内容の改善、充実

(1)「探究」の意義からの領域構成の見直し

<略>

- 小学校、中学校においては、各教科等の特質に応じて育まれた見方・考え方を総合的に活用しながら、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成し、探究的な学習が自己の生き方に関わるものであることに気付くようにする。
- それを基盤とした上で、高等学校における総合的な学習の時間においては、各教科等の特質に応じて育まれる見方・考え方を総合的・統合的に活用することに加えて、自己の在り方生き方に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら見方・考え方を組み合わせて統合させ、活用しながら、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成する。
- 自己のキャリア形成の方向性と関連づけるという点においては、高等学校の専門教科における課題研究科目や、現在、新たに検討されている「理数探究(仮称)」においても同様の性格を持つ。総合的な学習の時間と課題研究科目、「理数探究(仮称)」との違いは、専門性を活かした職業につながる専門教科や、大学における学問分野につながっていく「理数探究(仮)」の場合には、専門分野に向かっていく自己のキャリア形成と関連づけながら見方・考え方を統合させ、活用していくことを前提とした探究を行うのに対し、総合的な学習の時間では、一定の進路を前提とせず、実社会や実生活から自ら見出した課題を探究していくことを通して自己のキャリア形成の方向性を見いだすことにつなげていくという違いがある。
- こうした観点から、高等学校におけるこれまでの「総合的な学習の時間」については、その名称についても見直すべきである。小中学校における総合的な学習の時間とのつながりやそこからより探究的に発展したものであるという位置づけを考えると、例えば「総合的な探究の時間」あるいは「探究の時間」といった名称も考えられるところであるが、具体的な名称については、高等学校における各教科等の構成の見直しも踏まえて高等学校部会において決定することが適当である。

キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」と資質・能力の三つの柱（案）

※「基礎的・汎用的能力」に示す4つの能力を統合的に捉え、資質・能力の三つの柱に大まかに整理したもの。

【人間関係形成・社会形成能力】多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力
【自己理解・自己管理能力】自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力
【課題対応能力】仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力
【キャリアプランニング能力】「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力

各教科等における学習との関係性を踏まえつつ、教育課程企画特別部会「論点整理」の方向性も踏まえて整理

- ・ 学ぶこと・働くことの意義の理解
 - ・ 問題を発見・解決したり、多様な人々と考えを伝え合って合意形成を図ったり、自己の考えを深めて表現したりするための方法に関する理解と、そのために必要な技能
 - ・ 自分自身の個性や適正等に関する理解と、自らの思考や感情を律するために必要な技能
- ・ 問題を発見・解決したり、多様な人々と考えを伝え合って合意形成を図ったり、自己の考えを深めて表現したりすることができる力
 - ・ 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」をもとに、自分と社会との関係を考え、主体的にキャリアを形成していくことができる力
- ・ キャリア形成の方向性と関連づけながら今後の成長のために学びに向かう力
 - ・ 問題を発見し、それを解決しようとする態度
 - ・ 自らの役割を果たしつつ、多様な人々と協働しながら、よりよい人生や社会を構築していこうとする態度

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

キャリア教育における「基礎的・汎用的能力」の育成

人間関係形成・
社会形成能力

自己理解・
自己管理能力

課題対応能力

キャリアプラン
ニング能力

道徳、総合、特別活動各
教科は相互に関連

特別の教科 道徳(小 中)

- ◆ 勤労の尊さや意義の理解等を通して、自分の将来を考え、自己の生き方について自覚を深める
- ◆ 道徳での学びを特別活動や総合等の実践に生かす中で「基礎的・汎用的能力」を育んでいく

総合的な学習の時間

- ◆ 自己のキャリア形成の方向性に関連づけながら、実社会・実生活の中から問いを見出し探究する
- ◆ そうした探究活動を通じて、各教科等で身に付いた資質・能力を基礎に「基礎的・汎用的能力」を育んでいく

特別活動

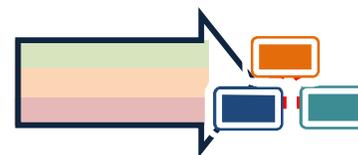
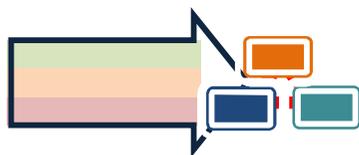
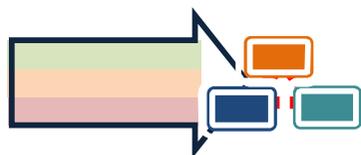
- ◆ 学校内外での集団活動に各教科等での学びを生かしつつ、今後のキャリア形成に学校での学びをどう生かすかという振り返りを行う
- ◆ そうした活動や振り返りを通じて、各教科等で身に付いた資質・能力を基礎に「基礎的・汎用的能力」を育んでいく

学校外の 教育活動

職場体験活動、
インターン
シップ、ボラ
ンティア活動
など（教育課
程外の活動(個
別の進路指導)
を含む)

各教科(「公共(仮称)」との関係も整理中)

- ◆ 各教科における「主体的な学び」を通じて、学んでいることを自己のキャリア形成の方向性に関連づけ、各教科で育む資質・能力を「基礎的・汎用的能力」の育成につなぐ
- ◆ 身に付いた「基礎的・汎用的能力」を、各教科の学びに活用



...

（ホームルーム活動の改善の方向性）

特別活動で育成すべき資質・能力の3つの視点（人間関係、社会への参画、自己実現）や、総則の構成や社会の要請などを踏まえて整理すべき視点など、教育課程全体における特別活動の役割も踏まえて、各活動の内容構成の構造を整理し、趣旨を明確化する

3つの視点



現行の高等学校学習指導要領(特別活動)

第2 各活動・学校行事の目標及び内容

〔学級活動〕

(1)ホームルームや学校の生活づくり

- ア ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決
- イ ホームルーム内の組織づくりと自主的な活動
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

総則の構成や社会の要請などを踏まえて整理すべき視点(例)

社会参画・自治の視点

ホームルーム経営と関連する視点

生活指導、生徒指導と関連する視点

学校段階間の接続の視点

多様性を尊重する社会の視点

社会参画の視点

心身の健康、安全・防災等の視点

食育の視点

(2)適応と成長及び健康安全

- ア 青年期の悩みや課題とその解決
- イ 自己及び他者の個性の理解と尊重
- ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任
- エ 男女相互の理解と協力
- オ コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立
- カ ボランティア活動の意義の理解と参画
- キ 国際理解と国際交流
- ク 心身の健康と健全な生活態度や規律ある習慣の確立
- ケ 生命の尊重と安全な生活態度や規律ある習慣の確立

主体的な学びの視点

キャリア形成の視点

個に応じた学習の支援や進路指導と関連する視点

(3)学業と進路

- ア 学ぶことと働くことの意義の理解
- イ 主体的な学習態度の形成と学校図書館の利用
- ウ 教科・科目の適切な選択
- エ 進路適性の理解と進路情報の活用
- オ 望ましい勤労観・職業観の確立
- カ 主体的な進路の選択決定と将来設計

改善のイメージ案

(1)ホームルームや学校における集団生活の形成、参画(仮)
⇒主として自発的・自治的な集団生活の形成や運営に関わる内容であり、集団としての議題の選定や話し合い、合意形成を大事にする活動

例) 学校における多様な集団生活の向上、ホームルームや学校における生活上の諸問題の解決、ホームルーム内の組織づくりと役割分担など、校内におけるよりよい集団生活の形成や運営、向上に関する内容

※日々のホームルーム経営との関連を図る

(2)一人一人の適応や成長及び健康安全な生活の実現(仮)
⇒主に個人が現在直面する生活における適応や成長、自律等に関わる内容であり、一人一人の理解や自覚等を大事にする活動

例) 男女相互の理解と協力やコミュニケーション能力の育成、国際理解・国際交流などの多様性を尊重した望ましい人間関係の形成や社会参画、青年期の不安や悩みとその解決、心身の健康と健全な生活態度、生命の尊重と安全な生活態度、規律ある習慣の確立など、生徒個人の適応や成長及び健康安全に関する内容

※関係教科、個別の生活指導や生徒指導との関連を図る

(3)一人一人のキャリア形成と実現(仮)
⇒主に将来に向けた自己の実現に関わる内容であり、一人一人の主体的な意思決定を大事にする活動

例) 学校図書館の利用など、学びと社会生活・職業生活の接続と振り返り(ポートフォリオ)、ボランティア活動の充実や勤労観・職業感の育成、社会的移行への対応など、自己のキャリア形成と実現に関する内容

※個に応じた学習の支援や進路指導との関連を図る

各項目と3つの視点との関係は、主として指導にあたって特に意識すべきと考えられる視点を強調して示しているが、それ以外の視点とも相互に関わりあっている。

主体的・対話的で深い学びの実現（「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善）について（イメージ）（案）

○「論点整理」におけるアクティブ・ラーニングの視点

【深い学び】

習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。

【対話的な学び】

他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。

【主体的な学び】

子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

総則・評価特別部会及び各教科等WGの議論を踏まえ、以下のように整理できるのではないか

【深い学び】

習得・活用・探究の見通しの中で、教科等の特質に応じた見方や考え方を働かせて思考・判断・表現し、学習内容の深い理解につなげる「**深い学び**」が実現できているか。

【対話的な学び】

子供同士の協働、教員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自らの考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。

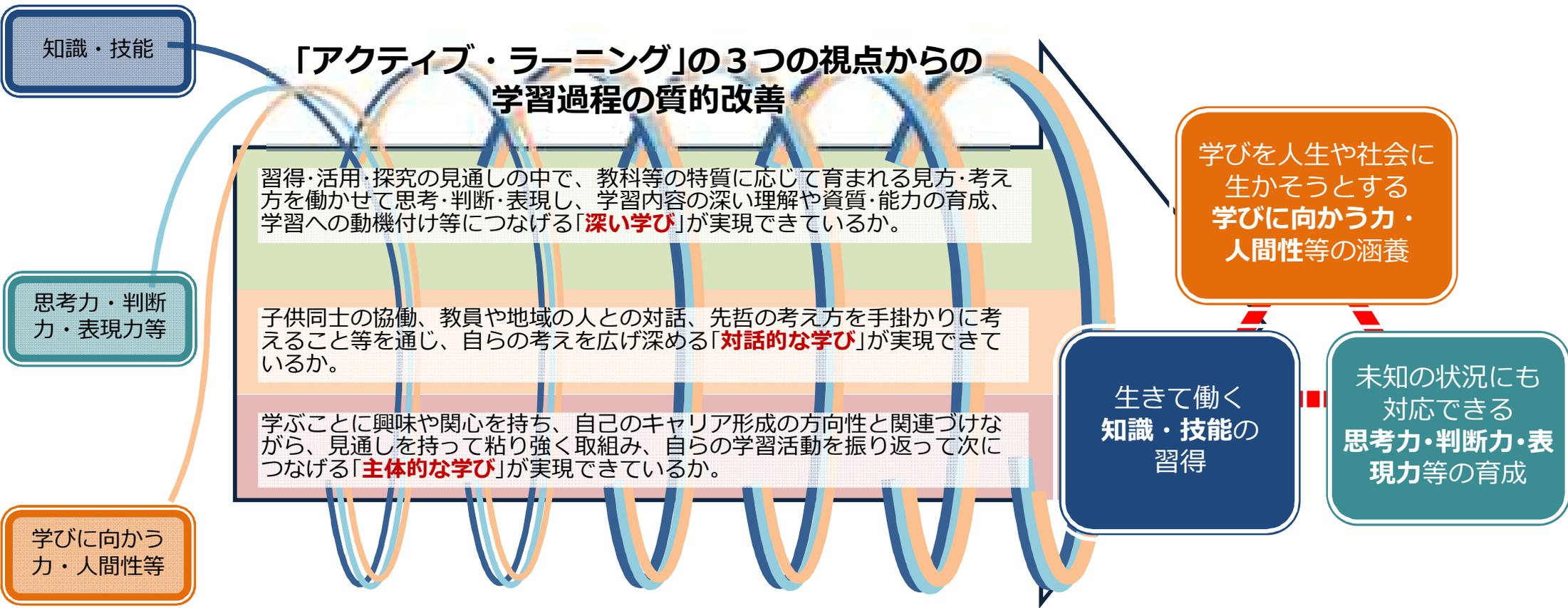
【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。

資質・能力の育成と

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」の視点）の関係（イメージ）（案）

- ◆「アクティブ・ラーニング」の視点は、知識・技能を生きて働くものとして習得することを含め、育成すべき資質・能力を身につけるために必要な学習過程を実現するためのもの。三つの視点*を明確にすることにより、授業や学習の改善に向けた取組を活性化するもの。*
三つの視点は、学習過程の中で相互に関連し合うものであることに留意
- ◆学習内容の量を削減するのではなく、学習過程の質的改善を行うもの。また、生きて働く知識・技能の習得を含む資質・能力の育成には、学習内容の深い理解が不可欠であり、「主体的な学び」「対話的な学び」のみならず「深い学び」の重要性にも留意。



*「習得・活用・探究の見通し」とは、習得された知識・技能が思考・判断・表現において活用されるという一方通行の過程のみではなく、思考・判断・表現を経て知識・技能が生きて働くものとして習得される過程や、思考・判断・表現の中で知識・技能が更新されたりする過程なども含む。

*基礎的・基本的な知識・技能の習得に課題が見られる場合においては、教科等の特質に応じ、知識・技能の習得を中心とした学習を、「深い学び」の前提として習得状況に応じ行う必要がある。その際には、例えば「主体的な学び」の視点から学びへの興味や関心を引き出すことなども併せて重要である。

「産業教育と人間」 学習指導要領における記述

- ・ 現行の学習指導要領等における「産業社会と人間」に関する記述は以下のとおりとなっている。
- ・ 特別活動において、キャリア教育の意義が明確にされることも踏まえつつ、今回の改訂に合わせて見直すべき事項はあるか。

高等学校学習指導要領(平成21年3月)〈抄〉

第1章 総則

第2款 各教科・科目及び単位数等

5 学校設定教科

(1) 学校においては、地域、学校及び生徒の実態、学科の特色等に応じ、特色ある教育課程の編成に資するよう、上記2及び3の表に掲げる教科以外の教科(以下「学校設定教科」という。)及び当該教科に関する科目を設けることができる。この場合において、学校設定教科及び当該教科に関する科目の名称、目標、内容、単位数等については、高等学校教育の目標及びその水準の維持等に十分配慮し、各学校の定めるところによるものとする。

(2) 学校においては、学校設定教科に関する科目として「産業社会と人間」を設けることができる。この科目の目標、内容、単位数等を各学校において定めるに当たっては、産業社会における自己の在り方生き方について考えさせ、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒の主体的な各教科・科目の選択に資するよう、就業体験等の体験的な学習や調査・研究などを通して、次のような事項について指導することに配慮するものとする。

ア社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観の育成

イ我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化についての考察

ウ自己の将来の生き方や進路についての考察及び各教科・科目の履修計画の作成

第3款各教科・科目の履修等

3 総合学科における各教科・科目の履修等

総合学科における各教科・科目の履修等については、上記1のほか次のとおりとする。

(1) 総合学科においては、第2款の5の(2)に掲げる「産業社会と人間」をすべての生徒に原則として入学年次に履修させるものとし、標準単位数は2～4単位とすること。

(2) 総合学科においては、学年による教育課程の区分を設けない課程(以下「単位制による課程」という。)とすることを原則とするとともに、「産業社会と人間」及び専門教科・科目を合わせて25単位以上設け、生徒が多様な各教科・科目から主体的に選択履修できるようにすること。その際、生徒が選択履修するに当たっての指針となるよう、体系性や専門性等において相互に関連する各教科・科目によって構成される科目群を複数設けるとともに、必要に応じ、それら以外の各教科・科目を設け、生徒が自由に選択履修できるようにすること。

「産業教育と人間」 学習指導要領 解説 における記述

高等学校学習指導要領解説総則編(平成21年7月) <抄>

4 学校設定科目及び学校設定教科(第1章第2款の4及び5)

(4)「産業社会と人間」

「産業社会と人間」は、平成5年の総合学科の創設に伴い、その原則履修科目とされた科目である。総合学科は、普通教育及び専門教育を選択履修を旨として総合的に施す学科であり、その教育課程における各教科・科目は、高等学校の必修科目、学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目により構成し、原則履修科目として「産業社会と人間」、情報に関する基礎的科目及び「課題研究」の3科目とすることが、平成5年3月に初等中等教育局長名の通知で示された。

総合学科における「産業社会と人間」は、人間としての生き方の探求、特に自己の生き方の探求を通して、職業を選択し、決定する場合に必要な能力と態度を養うとともに、将来の職業生活を営む上で必要な態度やコミュニケーションの能力を培うことや現実の産業社会やその中での自己の在り方生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を育成することをねらいとしている。このねらいを達成するため、各学校では、社会人や地域の有識者を講師とするなど地域との積極的な連携を図り、実習、見学、調査研究などの体験的な活動を取り入れた学習を展開してきている。また、「産業社会と人間」の学習は、自らの進路等を考慮した適切な各教科・科目の選択能力の育成にも大きな役割を果たしている。

このような自己の在り方生き方や進路について考察するとともにそれらを通して自らの進路等に応じて適切な各教科・科目を選択する能力を育成する学習は、高等学校において、どの学科でも重要な意義を有することから、平成11年の改訂において、学校設定教科に関する科目として「産業社会と人間」を設けることができることを明示したものである。

各学校において、学校設定教科に関する科目として「産業社会と人間」を設ける場合、目標の設定に当たっては、産業社会における自己の生き方について考えさせ、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養う観点に留意する必要がある。また、生徒が自己の進路に応じ主体的に各教科・科目の選択ができるように、就業体験や見学等の体験的な学習、調査・研究や発表・討論などの生徒の主体的な活動を重視した学習方法を積極的に取り入れ、特に次のような事項を指導するよう配慮することを総則において示しているものである。

- ア 社会生活や職業生活に必要な基本的な能力や態度及び望ましい勤労観、職業観の育成
- イ 我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化についての考察
- ウ 自己の将来の生き方や進路についての考察及び各教科・科目の履修計画の作成

この「産業社会と人間」の指導事項については、平成5年2月の高等学校教育の改革の推進に関する会議の第四次報告において、職業と生活、我が国の産業と社会の変化及び進路と自己実現の3項目で構成し、具体的には次のようなことを指導することが提言された。

① 職業と生活

各種企業や施設等の見学及び就業体験やボランティア活動、卒業生や職業人等との対話、発表や討論等を通して、職業の種類や特徴、職業生活などについて理解するとともに、勤労の意義について考察し、職業人として必要とされる能力・態度、望ましい勤労観・職業観を養うための学習を行うこと。

② 我が国の産業と社会の変化

先端的な工場や情報関連企業等の見学、技術者や海外勤務者等の講話、調査研究や発表・討論等を通して、我が国の科学技術の発達や産業・経済の発展・変化について理解し、それがもたらした情報化、国際化等の社会の変化、人々の暮らしへの影響について考察するための学習を行うこと。

③ 進路と自己実現

発表・討論、自己の学習計画の立案等を通して、自己の能力・適性、興味・関心等と各種職業に求められる資質・能力を踏まえ、自己の将来の生き方や進路について考察すること。これらの項目は、職業と生活が学習指導要領に示されたアの事項、我が国の産業と社会がイの事項、進路と自己実現がウの事項とそれぞれ対応するものと考えられ、各学校においては、この報告の内容を十分配慮し

「産業社会と人間」を開設し特色ある取組をしている例

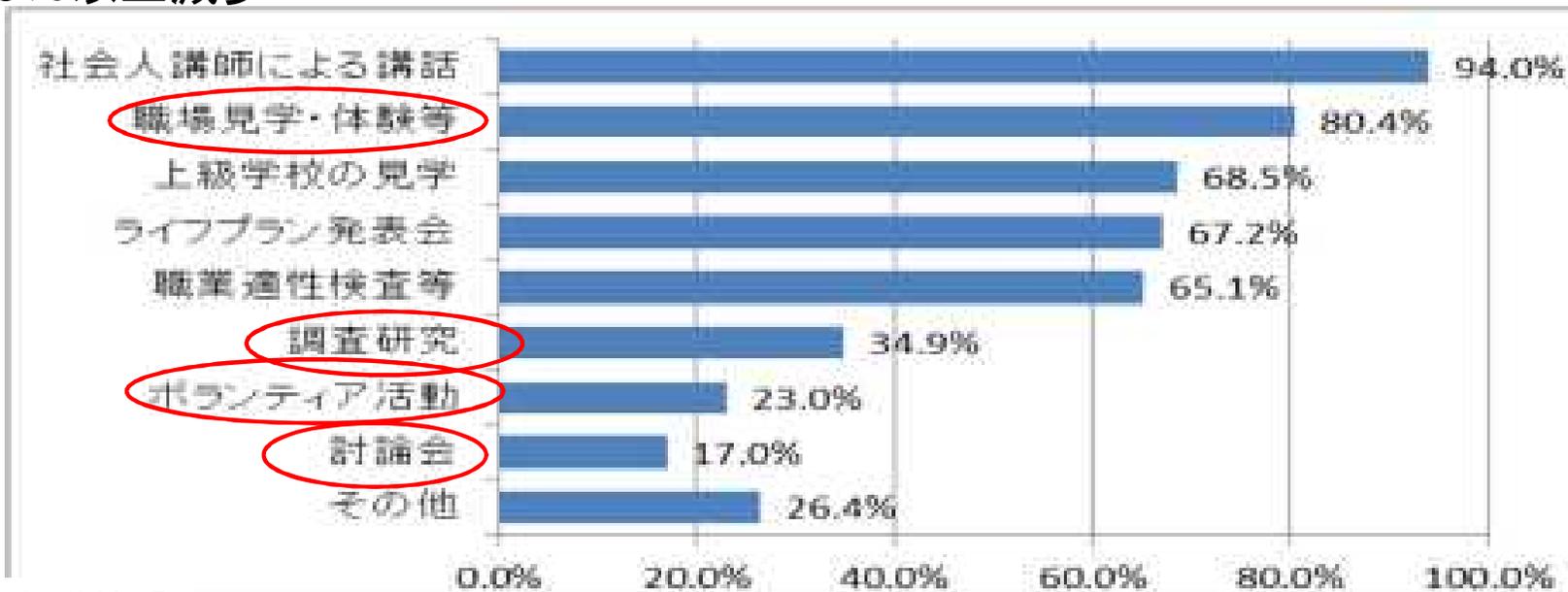
都道府県	学校名	課程	学校の特徴
青森県	A総合高校	定時制	<p>【科目の目標】 自己の生き方在り方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、現在及び将来の生き方を考え行動する態度や能力の育成を図る。 また、産業社会での自己の在り方・生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。</p> <p>【特色】 ・1年次で履修する「産業社会と人間」を『キャリアデザイン基礎』と位置づけ、2・3年次で履修する『キャリアデザイン』（総合的な学習の時間）と合わせて、キャリア教育に重点を置き、「生き抜く力」の育成を図っている。</p>
東京都	B総合高校	全日制	<p>【科目の目標】 I 自己の生き方を探求させるという観点から、自己啓発的な体験学習や討論などを通じて、職業の選択決定に必要な能力・態度、将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養成する。 II 現実の産業社会やその中での自己の在り方生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。</p> <p>【特色】 ・生徒は、「産業社会と人間」で自らを見つめ、ライフプランを作成し、それを実現するための「自分だけの時間割」で高校生活を送る</p>

出典:高等学校教育の改革に関する推進状況について(平成26年2月)に一部加筆

「産業社会と人間」の年間指導計画における活動

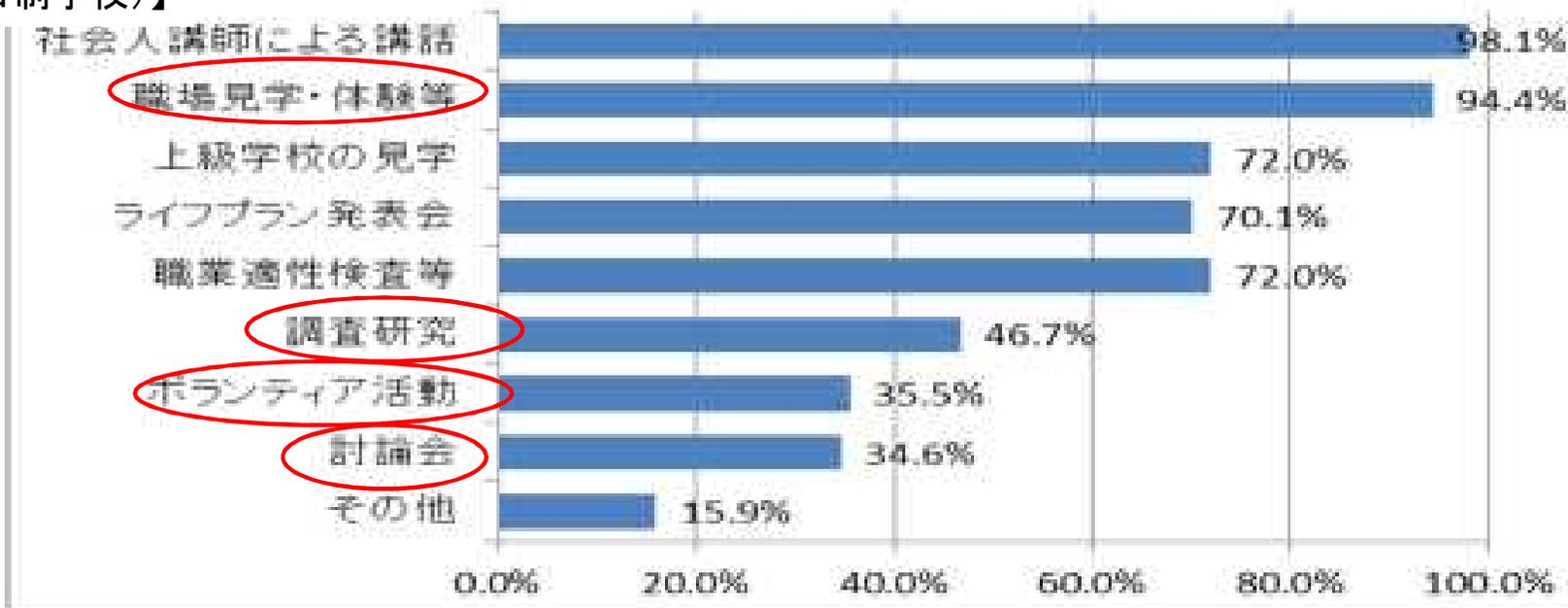
○ 「その他」以外の全ての項目の割合が減少。特に「職場見学・体験等」「調査研究」「ボランティア活動」「討論会」は10%以上減少

【平成19年調査】



n=235

【平成11年調査(公立全日制学校)】



n=107

「産業社会と人間」を学ぶ意義

- 平成19年度は産業社会と人間を学ぶ意義は全ての項目において肯定的な回答が7割前後。平成11年調査と比べても全ての項目で肯定的回答の割合が高くなっている。

